



全国革新懇 都道府県革新懇事務室長会議

オール沖縄は県民から

（赤嶺報告）
功をめぐす
民投票の成
切れ」、県
ヤモヤが吹っ
砂投入でモ
ヤモヤが吹っ

全国事務室長会議が1月20日、箱根で開催。40都府県から61名が参加。愛知からは村上、岩中が参加。
（1）「土砂投入でモヤモヤが吹っ切れ」、県民投票の成功をめぐす
オール沖縄は県民から

故・翁長知事は2014年県知事選挙で次のように演説。「オール沖縄は政治家・政党がゆずりあつて出来たものと思つてきた。しかし各地を回つてみると、県民の間で出た来上がついてきた」——これは安保法制と沖縄県民との矛盾の格闘の中でつくられたもの。ついに2016年の総選挙では4つの議席を勝ち取った。
政府の土砂投入——政府の暴挙でかつてない怒りが沖縄・本土でひろがった。注目すべき調査結果も。「『県民の意志』と『国政選挙での民意』とはどちらが上か」との質問に、「県民の意志」が60%近くあった。(産経調べ)。全野党が沖縄の現地調査に参加し、住民の声を聞いた。その上で沖縄防衛局に対して合同ヒアリングを行った。政府は軟弱地盤への工事変更をめざしている。しかし沖縄県知事はこれを許可しない。さらに運動

が盛り上がるであろう。市民投票は成功する——5市長が妨害している。しかし憲法の認められた住民投票権を奪うことはできない。反対していた公明党も三択なら加わりと言い出した。普天間基地返還と辺野古新基地建设をリンクさせることが間違いだ。
（2）市民と野党の共闘（小田川報告）
市民連合の大原則——①立憲主義の擁護②安保法制の廃止③9条改憲阻止④個人の尊厳を擁護する。全国市民連合として野党統一のため市民意見交換会を行う(2月17日)。
野党共闘のこれまで——昨年臨時国会では5党1会派の共闘が進んだ。沖縄県知事選でも野党は共闘して勝利した。市民連合は国民民主党と基本的方向を共有することに。立憲野党と市民連合の懇談会に平野国民民主党幹事長らが参加した。6野党・会派幹事長会議が1

月22日、そして党首会議が1月25日に予定されることになった。
今後の展望——民主党分裂による問題はああるものの、安倍政権の暴走の強まりもあり、結集は強化されている。これまでに2度の国政選挙、沖縄・新潟県知事選での経験・教訓を蓄積している。
野党が共闘し政策合意候補者調整に成功すれば、自・公に三分の二を割らせることは可能。野党がまとまれば、投票率は上がり、十分勝てる。
（3）「八方ふさがり」・積年の悪政のツケ——ダブル選挙、国民投票などできないよう、国会の内

外で大運動を！
7年目に入った安倍首相は野党共闘を壊し改憲のための国民投票も狙っている。しかし、この6年間の安倍政治のひどさを訴え、安倍暴走政治に終止符を打つ闘いを。
安倍政権は「八方ふさがり」——①勤労統計調査の不正・隠蔽。行政の基礎をくつがえす大問題②県民の意向を無視して土砂投入、予算を盾にして県民投票を抑える自民党議員の策動は怒りを呼び起こし、県民投票の成功は政府を追い詰める③消費税10%への値上げ。増収5兆円、景気浮上策で支出5兆円。増税の大義なし④トランプセールの原産輸出政策の破綻。イギリス・トルコ・インドなどことごとく失敗⑤モリ・カケ問題の再燃。新しい事実の浮上⑥攻撃的兵器の爆買い(対米従属)。イージスアショア、F35戦闘機などをアメリカの言い値で爆買い。必要最小限の武器ではなく改憲の先取り⑦北方領土返還交渉。2島返還も出来ず2島放棄を行う⑧オリンピック誘致で不正な金を使う。おもてなしでなくうら金。
（4）今後の革新懇運動の課題
参院選に向けて——安

をいれています。講演会に呼ばれるのですが、同じ顔ぶれで年配の方が多い。学生の参加者はほぼゼロです。講演会にはこない。ずっとたたかってきた人たち、この人たちが動けなくなったらいつたいていどうするのか、というものすごい不安をかかえました。
講演会にこないなら学生がいるところに乗り込んでいけばいい、と関心を持ってくれる先生を通じて大学の講義を行っています。この冬は12月の1か月で12大で17コマの授業で話し、2000人以上の学生が講義を聴いてくれました。これを毎年2回行っています。小さなゼミから300人ぐらいいまでさまざまですが、ありがたいことに寝ている学生はほとんどいません。準強姦罪で訴えている伊藤詩織さんのことを話すと非常に衝撃をうけています。毎回多くの学生が衝撃をうけ「気づき」のきっかけになっています。学生たちがそうした意識をどこまで維持できるかわからないですが、全く知らないで社会に出るよりはいいと思います。授業のあとすぐに帰らないようにしています。授業中に質問をする学生はなかなかいませんが、終わって

からもつと知りたいたいと来ます。そういう学生は関心を持っていてのは自分だけだと思っていて孤独なんです。「Dr藤田をHubとして繋がる」の会を立ち上げ、学生たちをつなげることを去年から始めました。大学の枠を超えて同じような意識を持つている学生同士が繋がり本当に生き生きとしてくるんです。今日も講演会のまえに8人が来てくれます。仲間がいるというこ

を感じてくれたらと思います。
勉強したいと
ラーメンを食べたい人にカレーを押し付けてもダメ。デモは怖いと思ってる若い世代に「デモは怖くないよ、来てみたらいいよ」というだけでは溝は埋まりません。「どういうものなら参加したのか」と聞くと「勉強したい。」と言います。それなら、参加しやすい学習会を企画して、そこに友達をつれてきて関心を持つ人をつなげるように

呼びかけています。若い世代は無関心だといわれますが、自由に考えさせない、意見を持たせない。そういう教育制度、道徳を作ったのはだれなのか。子どもの責任ではありません。私は高校生とときにグローバルな視野で活躍したジャーナリストの松井やよりさんの本を読み、大変なショックをうけました。著しい人権侵害を繰り返してはしてはいけない。
これからも国際世論を高めるために取り組んでいこうと考えています。次回の日本での講義講演ツアーは5月の後半の予定です。私の活動の詳細は「日本の表現の自由を伝える会」で検索してください。

この表の自由に関する国際活動の支援、資金協力を
☆郵便振替 口座番号
00870-7-216543
〇八九(ゼロハチキュウ)店
当座 0216543
加入者名：
日本の表現の自由を伝える会

第1回代表世話人会 (1/16) 報告

情勢懇談から

知事選告示前日、参加者は少なかった。参加者の一人が現状に対して怒りの発言。「勤労統計のごまかし、沖縄県民の意志を無視した土砂投入、首相の『サンゴの移植はすでに行った』とウソ発言。その上、NHKがそのまま放映。座り込みでもハンストでも何でもやりたい」など活発な論議。

(1) 知事選挙をめぐる——現職との一騎打ちとなり争点が明確。貧困・格差解消、原発ゼロなどの市民運動とのつながりが盛り上がっている。相手は論争を避けている。統一地方選、参議院選へつなげていく。「主権者の出番」を訴えることが重要。自分たちの願いを語り実現へ。

(2) 革新懇運動の今後——昨年、『講演と文化の夕』の成功をさらに生かす。①こうした企画を継続する②地域での企画も検討を③文化も地域で育つものを上演するなど。松本清張作『ゼロの焦点』。松本清張氏は全国革新懇の代表世話人でもあり、各区の小劇場は本山革新市政が地域の文化を支えようとするもの。この上演運動を支える。

(3) 日米安保条約・地位協定をい深くとらえる——アベ首相の対米従属政策が暮らしを破壊し日本の未来を脅かしつつある。①危兵器爆買い②自由貿易への制約③基地拡大、辺野古新基地推進④核兵器禁止条約批准消極的⑤自立的外交をしないなど。改めてひとり一人の暮らしにかかわってつなぐことが求められている。

(4) 不戦・戦争の放棄の200年——戦争をしない、軍力ではない流れが核兵器禁止条約に繋がっている。この流れを若い人に伝えていく課題がある。
当面の取り組み
(1) 知事選挙——昨年末、支援アピールを発表、カンパも訴える。積極的取り組みを。
(2) 3000万署名、消費税10%反対、核兵器廃絶署名等の取り組みを。
☆次回代表世話人会 2月21日(木) 14:00

道徳教育が必須になりましてがこのなかには「人権」が1社の教科書をのぞいて一切書かれていません。ねらわれているのは9条だけではない

道徳教育が必須になりましてがこのなかには「人権」が1社の教科書をのぞいて一切書かれていません。ねらわれているのは9条だけではない

道徳教育が必須になりましてがこのなかには「人権」が1社の教科書をのぞいて一切書かれていません。ねらわれているのは9条だけではない

道徳教育が必須になりましてがこのなかには「人権」が1社の教科書をのぞいて一切書かれていません。ねらわれているのは9条だけではない

道徳教育が必須になりましてがこのなかには「人権」が1社の教科書をのぞいて一切書かれていません。ねらわれているのは9条だけではない

道徳教育が必須になりましてがこのなかには「人権」が1社の教科書をのぞいて一切書かれていません。ねらわれているのは9条だけではない

道徳教育が必須になりましてがこのなかには「人権」が1社の教科書をのぞいて一切書かれていません。ねらわれているのは9条だけではない

道徳教育が必須になりましてがこのなかには「人権」が1社の教科書をのぞいて一切書かれていません。ねらわれているのは9条だけではない